

# 第52回全日本教職員バドミントン選手権大会 レフェリー報告

教職員大会 競技役員長  
松野木 聡

平成25年8月10日～14日の日程で、宮崎市総合体育館及び宮崎県体育館におきまして上記大会が無事行われましたことを、ご報告いたします。また、本大会の開催に当たり、準備・運営にご尽力いただきました地元宮崎県バドミントン協会並びに宮崎県教職員バドミントン連盟の皆様、厚く御礼申し上げます。

さて上述の通り8月初めという極暑の時期に、南国の極め付きともいえる宮崎の地におきまして開催されました本大会、私自身、役員という立場ですが初めての参加となりました。そして宮崎に来るのをとても楽しみにしておりましたが、これは、全国の教職員がどのような試合をするのか、とても興味があったからです。普段は多くの先生方は選手たちを指導する立場にあり、怖い顔をしながら夜遅くまで怒声をとばしている（あくまで想像です）のであろうと勝手に推察しているからです。

大会は団体戦に引き続き個人戦（ダブルス、シングルス）が行われましたが、試合が始まって吃驚したのは、実業団や学生の試合と何ら変わらない熱気が爆発したことで、これは真夏の暑さだけではないと直ぐに感じ取れました。ラケットを握れば皆一緒だなあ、というところです。

私はレフェリー資格を取って今大会で8回目のレフェリングになりますが、本大会はこの中で一番楽な大会であったと考えます。これはひとえに選手の皆さんが紳士的で、こちらの気持ちをよく理解し、注意されれば素直に認め、謝罪し、すぐに改善してくれるからです。他の大会ではこんなことはありません。監督・選手とも目つきが変わり粗暴な言動も目立ちますが、本大会出場の皆さんも教え子達が出場する全国大会に同行すれば、やはり豹変するのでしょうか（笑）？そうならないことを願うばかりです。今回は、小さな違反行為はありましたが、先に記しましたように注意すれば直ぐに改善してくれたため、特記するようなことはありませんでした。ただ、アキレス腱断裂事故が2件、熱中症の発症が1件あり、計3回の救急車出動を要請しました。特に宮崎県体育館は空調設備が無いため、室温が35度まで上がり、選手や運営スタッフはご苦勞されたと思います。昨今夏が来る度、極暑という言葉が氾濫していますが、確かに平均気温は上昇しているようです。であれば、このような時期に開催される大会は、今後は空調設備の有る無しは、かなりの開催要件になってくるのではないかと思います。選手ばかりでなく、スタッフや応援者も快適な環境で行動したいものです。

最後になりますが、私は（公財）日本バドミントン協会の派遣レフェリーという立場で参加しましたが、出身は愛媛県松山市です。2年前、この松山市におきまして第50回大会を開催いたしました。当初は山形県で開かれる予定だったのですが、東日本大震災のため、急遽開催を要請されました。開催まで3か月しかありません。本当にできるのか不安でしたが、このような形で東北の応援ができるのならと、愛媛県教職員バドミントン連盟が一致団結し、無念であろう山形県連盟も共にあるとの思いで、何とか開催にこぎつけました。大会当日、多くの選手が全国から集まっていたいただき、感激したのを昨日の様に思い出されます。本当にありがとうございました。この頁を借りまして、お礼申し上げます。

レフェリー報告文を書いて欲しいという稲石副会長からの要請があり、必死の抵抗を試みましたが、先輩には勝てません。文才の無さが仇となり、報告文というより作文になってしまいましたが、お許しください。日本教職員バドミントン連盟のますますのご発展と、皆様方のご健康ご繁栄を祈念しまして終わらせていただきます。ありがとうございました。